

はじめての小川山とか富士山とか湯川とか鳥海山

渡辺 大三

もう夜だ。今日は何だか肋骨が疼いて熱があるのか喉が渇く。そんなわけで徒然なるままに…ではなくズルズルなるままに内地の petit 遠征について報告する。

大まかにいうと、5/27～6/11 で内地へ今井氏と共に行ってきた。主に小川山クライミング。時々スキー。クライミングで何が登れた、何が難しいとか書いてもマニアックで説明に紙面の大半を割いてしまうのも気が進まないし、おもしろい出来事がたくさんありすぎて書くのが大変なので、失敗とか富士山・鳥海山のこと書いた方がイイノカナ。まあ始めますわー。

小川山、コレは久々の花崗岩。ガーン、いきなり 10 台で落ちた。だが花崗岩のフリクションとか岩に慣れてくると快適になる。目標のルートも登れた。そう、目標のルートについて書こう。「イムジン川 11d」というルートが目標だった。理由は名前がオモシロイからだ。結構有名らしい。私も聞いたことがある。結果 3 撃だった (3 try 目で get ということです)。

ルートの説明：花崗岩のフィンガークラック、ナッツがバシバシ決まる、結構フェースムーブがでてくる。ヨセミテで出会った友人 (彼は 14 クライマーの沢屋、オーラ全くなし、いつも眠そう) とともに登った。そのほか 11～12 台をいくつかオンサイトした (12 台は多分 11c/d くらい)。マルチピッチモ何本か。ウスノロマンという有名なものも。毎日登り、雨の日も登った。雨の日は非常に落ちやすい。

湯川、小川山が雨なのでエリアをかえたがやはり雨だった。コレは溶結凝灰岩のクラックエリア。層雲峡にそっくり。湯川三大クラックという 10d の 3 つのクラックがある。訪問日は残念ながら夜からの大雨で 1000 には撤収したが、全て O・S できた。滑ってなんまら怖かったが素晴らしいクラックだ。パートナーは雨に濡れながらビレイしてくれた。

富士山、吉田口方面のカリンカリン氷のシュートを登り、そして攻めた。剣が峰より滑降。すごいスピードがでた。残念ながら 2 回止ってしまった。(ガスでルーファイ待ち、雪渓が途切れるという理由)

鳥海山、今井氏と別れたあと、せっかく新潟まで行ったのだから「田舎暮らしのサナエッティ」と彼女の所属する新潟稜友会の友人と 3 人で徹夜で鳥海山スキーへ。彼女の「ぎゃ〜」はもはや定番であり、非常に元気だった。発電に利用できそう。鳥海山はガスっていたので頂上で晴れるまで踊ったり叫んだりした。斜面はガタガタしていてあばらが痛い (サナエッティを待っている間に新潟のジムで登っていたらホールドに胸を強打だよ、バカー)。

さて、失敗。失敗と言えば水筒の蓋締めが甘くて中で少し漏れていた。穴ボロ服を銭湯に忘れた。富士山で滑落しそうになった。水筒を流した（無論回収したが）。あんまりおもしろくない失敗だなー。でも今年の水難の相かな。ああ、あとさっき書いたけど肋骨骨折したっぽい。

聖地・小川山でクライミングが出来たことが嬉しいし、富士山・鳥海山滑降も楽しかった。これで百名山達成率は 12/100 となった。

中でも友人に再開できたことは嬉しい。